

今、世の中は、英語についての話題で持ちきりです。小学校では、三年生からの外国語活動や五年生からの正式教科としての英語授業が始まっています。また大学入試での外部英語能力試験の導入などを含め、話題に事欠きません。今後の社会を生きていく必要能力のように英語は扱われ、身につけないと時代に取り残されてしまうかのような雰囲気があるの中にあります。

しかし、今回は一旦立ち止まり、人間にとって言葉とはどのようなものかを考えてみたいと思います。

幼い子が寝る前に親から読んでもらう絵本。物語に引き込まれ、ワクワクしながら聴いた思い出をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。心温まる内容、ちよつと怖い内容、さみしい内容、いろいろな物語に触れることで想像を膨らませ、子どもの心は豊かに育っていきます。それと同時に、その豊かな内容を表す豊かな言葉の理解力や表現力も養われることとなります。物語を通して働くその想像力は、やがて状況を読み取ったり人の気持ちを想像できたりする思いやりの心へと成長していきます。つまり、豊かな心と豊かな言葉は並行して発達していきます。

日本語の世界でも、学生時代の若者言葉と、就職してから大人として使う、社会で認められる日本語は違

います。同じことが英語でも言えます。周囲から認められる品格のある言葉としての英語があります。スポーツで、同じ基礎を学んでも結果としてフォームやプレーが選手によって違うように、英語も最終的には話す人によってその使い方が異なり、その使い手の人柄が表れるようになります。

言葉は、その言葉を使う人の心のあり方であり、「ウザい」「キモい」などのトゲのある日本語は、その人の内面に潜む心のトゲを表していると言えないでしょうか。

きれいなものを見たときの感動、人の痛みに寄り添う優しくしなやかな共感の心、世の中の不条理に憤りを感じる心、こういった豊かな感情や情操の体験・やり取りを通して、それらを表現する言葉(日本語)も豊かになり、その結果、英語の力も日本語同様、豊かに発達できるのではないのでしょうか。

英語も日本語同様、長い歴史の中で培われた人間の言葉です。今は世をあげての英語熱ですが、自分、周囲の人々や社会に対してどのような生き方のできる人になりたいのか、を子どもたちに問う英語教育でありたいものです。それでこそ、世界で尊敬される日本の子どもたちの英語学習となり得るのではないかと

「言葉と心」

～昨今の英語熱に思う～

連載・青少年健全育成シリーズ 第321回

青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況は、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄